

# V 校内研究

## 今年度の研究

### (1) 研究主題

「自分のことばで考えを伝えることができる生徒の育成」  
～ 確かな学力が身につく授業づくりを目指して ～

### (2) 主題設定の理由

「学び合い」の研究を始めて4年目となる。

北辰オリジナル授業デザインの「①つかむ、自分で考える → ②伝える → ③深める → ④まとめる・振り返る」のうち、昨年度は「③深める」→「④まとめる・振り返る」の過程に重点を置くことで、生徒たちに理由と根拠を持って説明する力を付けていきたいと取り組んでいた。

しかし、昨年度の学力調査の結果からも、理由や根拠を持って自分の考えを答える力にまだ課題があることがわかってきた。

そこで、今年度も、「③」と「④」に重点を置き、生徒が自分のことばで考えを伝える場面を増やすことで、学力向上につなげていく。

### (3) 目指す生徒の姿

- ・自分の考え（やり方）を発信できる生徒
- ・友達の考え（やり方）を聞いて、自分の考え（やり方）を変化させられる生徒
- ・理由や根拠を持ち、自分の言葉（やり方）で説明（実技）できる生徒

### (4) 研究の方針

「目指す生徒の姿」をいつも描きながら、教科部会、学年会、若手教員早期育成プログラム、各分掌等の連携を密にして取り組む。そして北辰オリジナル授業デザインを軸に授業力向上を目指す。また、研究授業や講師からの助言が受けられる機会を設け、現状理解、授業力向上につなげる。

### (5) 研究の内容

#### ①思考を深める工夫

「学び合い」が考えの出し合いで終わってしまわないために、生徒たちの考え（やり方）をどんな方法でさらなる学びへと深め、変容させることができるか、各教科等の見方・考え方を基にアイデアを出し合って実践する。丁寧な見取りを通して、瞬発力を持った、確実にゴールにつながるような発問・問い返し・再思考の場の工夫が求められる。【重点①】

#### ②まとめ・振り返りの工夫

「学び合い」を通して、生徒の考えが変容し、理由と根拠をもてるようになっている。最後にキーワードを明確に自分の言葉（やり方）で説明（実技）したり、振り返ったり、適用問題に挑戦したりすることで、生徒が自身の変容を実感する機会をつくり、研究主題の達成と学力向上を目指す。【重点②】

### (6) 研究の重点にかかわる授業での共通実践

授業後半で、まとめ及び振り返り、適用問題、活用実験、実技等を行う。